2022（令和4）年5月13日　兵庫大学資料

高砂町活性化の取組と課題・展望

１．目標

（１）日本遺産～北前船寄港地・船主集落～に認定された高砂・堀川周辺地域を活性化し、歴史美観地区として観光地化する。

（２）地域活性化のモデルケースを作り、市内、他府県内に発信する。

２．取組（順不同）

（１）江戸末期の工楽松右衛門旧宅が完成し、高砂市観光交流ビューローが運営を担っている。

（２）「ルネサンスみなと町高砂」に改革を担う人・団体を集め、企画と交流を図る。

（３）高砂町内外の歴史ガイドを展開する。また、高砂町かるた・工楽松右衛門かるたを作る。

（４）高砂町ゆかりの人物展を工楽旧宅、市立図書館、市立文化会館で実施する。

（５）中学校・高齢者大学、兵庫大学等で、海運業界を飛躍的に発展させた高砂生まれの工楽松右衛門やその故郷である高砂町をPRする。

（６）他の船主集落との交流を図るための船を出す。また、船主集落のゲーム式双六を作る。

（７）北前船にちなみヨット体験を月１回実施する。

（８）古民家利用して、現在約３０近い店ができている。そのマップも作成する。

（９）松右衛帆専門店ができている。

(10) 工楽松右衛門銅像がある高砂神社や、菩提寺である十輪寺が高砂町内にある。

(11) たかさご運河物語として、月１回HPで連載している。

(12) 山電高砂駅に高砂町の観光パンフレットおいて、駅⇔高砂町の導線を図っている。

３．課題・展望

（１）高砂町内を更に整備する。

例；①高砂市歴史資料館を高砂町内に建設　②駐車場の確保　③南堀川・高砂川の浚渫
④高砂神社～藍屋町信号まで石畳化

（２）古民家活性化に対する補助金を充実する。

（３）取組の点を大事にしながら、点を線に、線を面にする。

（４）観光客が来るのが当たり前の高砂にする。